



# さだ公民館だより

令和8年3月23日 120号 編集・発行 佐田地区公民館 電話：44-0312

## 祝 ひな祭り 展示会開催



令和8年2月26日（木）から令和8年3月4日（水）までの1週間10時から15時まで、【大隈通比古 邸】でひな祭り展示会を実施しました。

今年の飾りつけは、昨年よりもさらに手の込んだ作品を展示していたように感じました、グループ「うさぎっ娘」技術・努力はすごいと感心しました。

会場は、連日見学に来る人達であふれかえり、佐田の町もお祭り気分一色大賑わい、宇佐市外からの見学者も多かったようです。

場所を提供する人がいて・計画する人がいて・作る人がいて・飾る人がいて・見てくれる人がいて・褒めてくれる人がいて、そこは人と人を結ぶ笑顔で温かいふれあいの場所となりました。過疎化が進むなか活気あふれる楽しい1週間でした、ありがとうございました!!

## 俳句教室

令和八年二月 第四十六号  
佐田句会 二月十七日 五名  
兼題 春眠 鶯 蔞の臺

松本公節 選評

○ お目当ての場所をたずねて蔞の臺 義彦  
○ 木立より初音飛び立つ気配かな //

（評）「蔞の臺」は宿根植物で、毎年同じところに。微笑ましい。「初音飛び立つ」が秀逸な措辞。

○ 春眠の寝返れば又違ふ夢 二三華  
○ 藪中の途切れとぎれの初音かな //

（評）さすがに、どの句も共感を得て、なおかつ、しっかりとした句柄ですね。寝返りの度に浅く目覚めて、今の夢を反芻することはありますね。

うろ覚えですが、違う夢ですね。  
○ 句鳥妣の命日近づきぬ 美佐子  
○ 春眠や鴉に夢をやぶらるる //

（評）「句鳥」は鶯の傍題。母への思念が美し「句鳥」と結びつき、高潔な句に。朝一に啼く曉鳥は煩わしい事実。

○ 美佐ちゃんの心づくしの蔞のたう 七栄  
○ とうとうと意見とろとろと春眠 //

（評）当日句会に美佐ちゃんの初物「蔞の臺」の天ぶらを御馳走になりました。

選者吟 一のねぢ二のねぢ緩み春眠し

次回 佐田句会は

三月十七日 佐田公民館

兼題は 行く春 茶摘み 雪柳



## 第35回米神山巨石祭が開催されました



令和8年3月8日（日）10時から、佐田地区まちづくり協議会主催で、佐田地区最大イベントの一つである『米神山巨石祭』が開催されました。

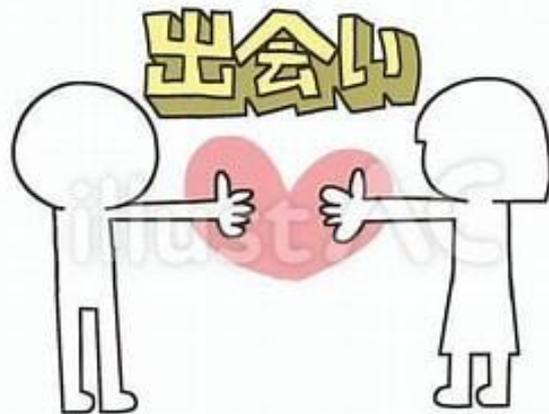
始めに、山開き祭「山の神の鎮魂と安全祈願祭」のお祓い、巫女さんによる「浦安の舞」と神事を執り行い。

アトラクションとして、佐田小学校キッズガイド・院内童龍太鼓・祝賀もちまき・ふれあい市場など祭典を盛り上げました。

式典終了後、米神山探訪登山実施たくさんの方々々が米神山登山にチャレンジしてくれました登山者には、百花山草で早朝より、にぎってくれた【おにぎり2個】を振る舞い、山のテッペンで食べたおにぎりは最高だったとのことでした。

準備から後片付けまで手伝ってくれた皆さん、ありがとうございました。

### 春は出会いと別れの季節ですね（雑談）



年が明けたと思ったら、もう4月になりますね。

時間の過ぎるのはあっという間です。

寒い冬が過ぎて、だんだんポカポカ温かくなって、いい天気が続いていますね。

桜が咲くと、いよいよ春が来たという感じがしますね。

春は、別れと出会いの季節です。卒業式があり、悲しい別れもあると思います。

しかし、別れがあるから、また新たな出会いがあるのです。

これから自分がどんな出会いをするのか、考えたらワクワクしませんか？

どの別れや出会いにも、必ず意味があると思います。

誰かとの別れは、違う誰かと出会うために必要なものなのかもしれませんね。

もしかしたら、いつしかお別れをした人と、もう一度出会うこともあるかもしれません。

一つ一つの別れ、出会いを大切にしていましょ。

